

実

河野 篤

7月の始めに、本山で全国児童教化連盟の会議に出席させていただいたとき、『児童教化の実って何だろう』というお話がありました。その問いに私は何も答えられませんでした。児童教化どころか、毎日のお参りや生活さえも、作業的な姿勢でしかなかったのです。皆さんはどうでしょうか。

その話を教化学研修室でしたところ、教行信証の『一切衆生、悉有仏性』という言葉をお話いただきました。曾我先生はこの言葉を「一切衆生に、ことごとくあるものを仏性という」と話されています。全ての人、ものが持っているものが仏性であり、その仏性をみんなで一緒に確かめるという目的があるのです。今回のこと例えば、児童教化は子どもたちと一緒に仏性を確かめる表現の一つなのではないかということをお話されました。

『実』というものはすぐに答えが出るものではありません。今回は児童教化ということでお話しましたが、児童教化に限らず、普段のお参りや生活でも仏性を確認するためと言うと難しくなりますが、気づかせてもらえる場所を考えたいと思います。それが『実』ということにつながってくるのではないのでしょうか。